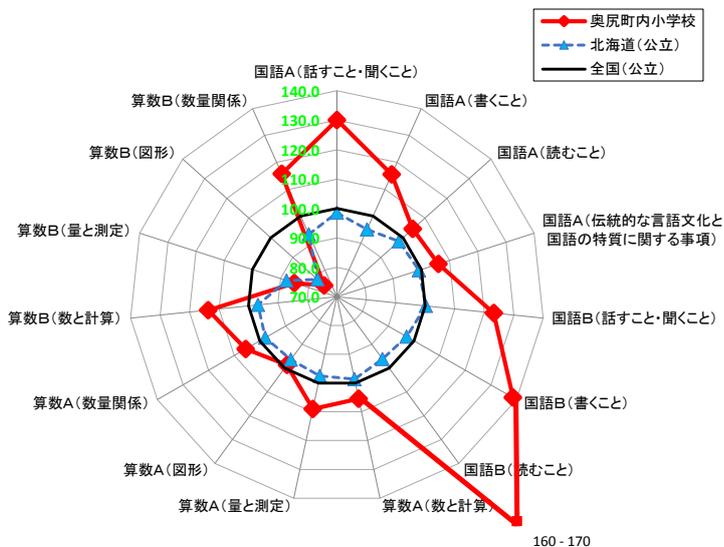


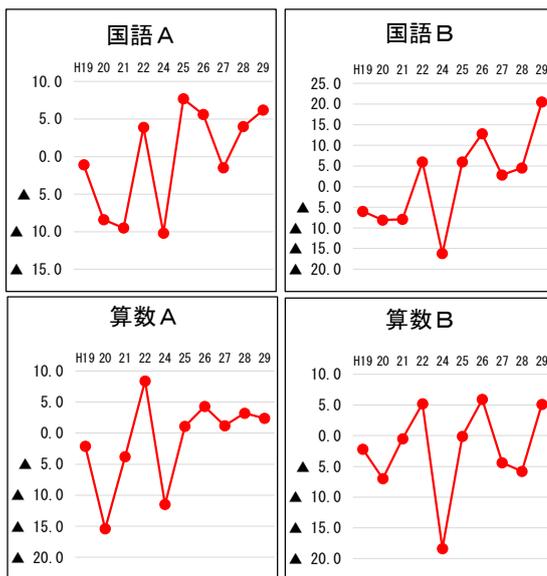
■奥尻町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:10人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



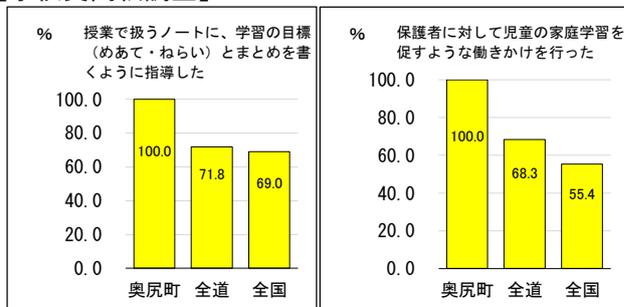
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A・Bでは、すべての領域で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」「量と測定」「数量関係」、Bでは、「数と計算」「数量関係」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が、家庭と連携し、保護者に対して児童の家庭学習を促す働きかけを行ったことにより、家で、自分で計画を立てて勉強したり、宿題をしたりする児童の割合が増えたと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ すべての児童が、「家で、学校の宿題をしている」と回答している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校が、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導したことにより、学習内容の理解と定着につながったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導した」と回答している。 ○ すべての学校が、「保護者に対して児童の家庭学習を促すような働きかけを行った」と回答している。 	

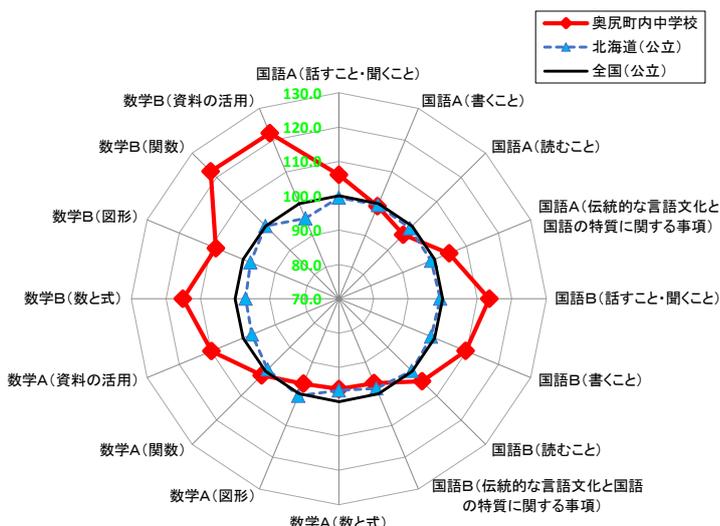
【奥尻町の学力向上策】

- ◎ 家庭との連携による生活習慣のリズム化や家庭学習の定着
- ◎ 指導方法の工夫改善を図るための教職員の専門性や指導力の向上を目指す研修機会の確立
- ◎ ICTの効果的活用に資するための指定事業の推進・普及
- ◎ 放課後や長期休業中における補足的なサポートの実施による基礎的・基本的な内容の定着を図る取組の充実

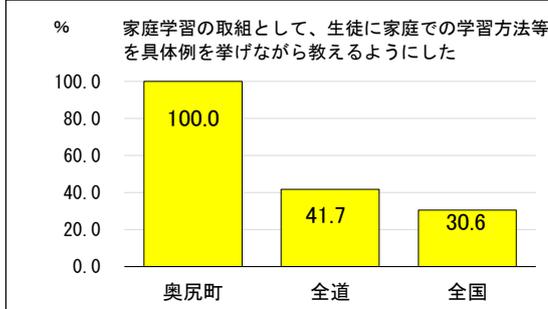
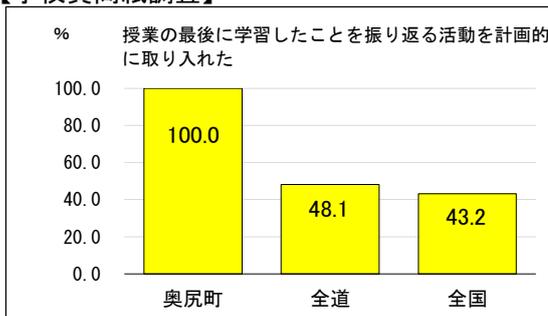
■奥尻町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:15人)

【教科全体の状況】

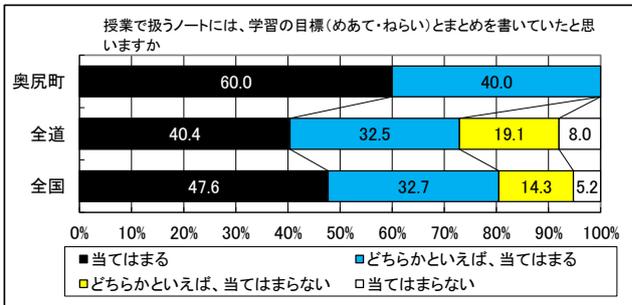
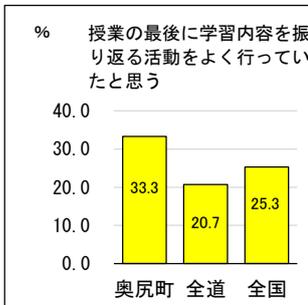
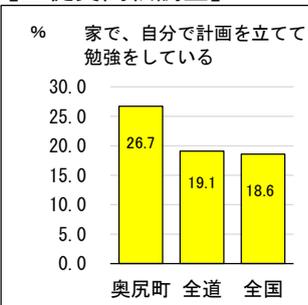
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

項目	分析内容
教科	<ul style="list-style-type: none"> 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 数学Aでは、「関数」「資料の活用」、Bでは、すべての領域で全国を上回っている。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていましたか」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れている。 家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしている。

【奥尻町の学力向上策】

- ◎ 家庭との連携による生活習慣のリズム化や家庭学習の定着
- ◎ 指導方法の工夫改善を図るための教職員の専門性や指導力の向上を目指す研修機会の確立
- ◎ ICTの効果的活用に資するための指定事業の推進・普及
- ◎ 放課後や長期休業中における補足的なサポートの実施による基礎的・基本的な内容の定着を図る取組の充実